

インタビュー・シリーズ 新たな知のケミストリー LIBRARY 2025

「国立大学図書館協会ビジョン2025」は、「重点領域2」として「知の創出：新たな知を紡ぐ＜場＞の提供」を掲げています。これは、物理的な＜場＞と併せて、ネットワーク上に存在する情報空間をも＜場＞として活用することで、人と知識や情報、あるいは人同士の相互作用をもって知を創出し、社会・地域と連携する図書館像を示すものです。

国立大学図書館協会では「重点領域2」に関する企画の一環として「インタビュー・シリーズ 新たな知のケミストリー：LIBRARY 2025」と題したインタビュー・シリーズを実施し、以下に掲載した12の国立大学図書館の取り組み事例をご紹介してきました。また、それらの事例について、その根底にあるライブラリー・スキーマという観点からご紹介いただくセミナー（※）を本年1月に開催しました。

本シリーズをとおして、大学図書館における新たな取り組みが生まれること、そして、これから一緒に取り組んでいく方々と出会えることを願っています。

※令和5年度国立大学図書館協会セミナー

「オープンサイエンス時代における場としての大学図書館：事例から見るライブラリー・スキーマ」



第1回 電気通信大学



UEC Ambient Intelligence Agora



第2回 岡山大学



知好楽セミナー



第3回 東京学芸大学



未来の先生のための
ラーニングコモンズ



第4回 九州大学



中村哲医師メモリアルアーカイブ
中村哲著述アーカイブ



第5回 兵庫教育大学



BLUE CLASS



第6回 名古屋大学



ライブラリ・メイカースペース



第7回 信州大学



信大検定



第8回 北海道大学



システムティックレビュー
作成支援事業



第9回 千葉大学



学修支援活動のオンライン化



第10回 三重大学



どこでもCeMDS本棚！



第11回 東京藝術大学



退館のお知らせは生演奏！



第12回 大阪大学



大学図書館と市立図書館の一体的
運営による社会連携の取り組み



「ビジョン2025 重点領域2企画」担当者チーム